

元気いっぱい「鬼は外！福は内」！ ～ともしび保育園～

節分

2月3日、ともしび保育園で節分の豆まきをしました。園長先生から節分の意味や由来についてお話を聞いたあとは、「鬼のパンツ」を踊り準備万端！さっそく豆まきで鬼を追い払います！お友だちと力を合わせて無事鬼たちを追い払うことができましたよ(^^)



お兄ちゃんお姉ちゃんたちが優しい鬼になりきってくれます。乳児クラスのお友だちみんなで力を合わせて、無事に退治できるかな？



早速「おには～そと！ふくは～うち！」と、豆に見立てた新聞紙や丸めた紙を一生懸命投げます！ひとしきり投げると、お兄ちゃん鬼たちが「まいった～」と倒れてくれて、乳児クラスからは「やったー！」と満足そうな声が出ていました☆



お次は、職員扮する鬼たちが舞台から登場！幼児クラスの子もたちは鬼の登場に驚いたり、喜んだり、怖がったりと様々な表情でしたが、新聞紙などで丸めた豆をしっかりと鬼に投げ、退治していました。さすがは幼児クラスさん！お見事！！



子どもたちの元気な「福は内！」の声に、春の近いことを感じます。1年間沢山の福が訪れ、楽しく幸せな日々を送れますように☆



職員インタビューコーナー

福祉の世界に入ったきっかけ

15年前に父がガンで他界したのですが、闘病生活を送っていた時はヘルパーさんで大変お世話になっておりました。ヘルパーさんの動きを見ているうちに、私の中で「素晴らしい仕事だな、私もできたらいいな」という想いと「お世話になった恩返しをしたい」という気持ちが重なり合って、ヘルパー2級を取得したことがこの世界に入るきっかけになりました。ヘルパー2級取得当時はまだ子どもが小さかったのですぐに仕事に結びつけることはできなかったのですが、子育てが落ち着いた頃に「高齢者と関わる仕事がしたい」と思い、派遣会社に登録をしました。福祉の世界の入口としてまずはデイサービスのドライバーを希望していたところ、派遣会社からの提案で生活支援ハウスのお仕事に繋がりました。

実際に福祉の仕事に就いて

派遣社員として生活支援ハウスで働きはじめ、令和7年11月からは職員として日々励んでおります。勤務中に色々な入居者様が各々のタイミングで受付に来てくださるのですが、挨拶や何気ないお喋りの時間を大切にしながらコミュニケーションを取っている時が「この仕事楽しい」と思える瞬間です。入居者様は個室で生活をされていますので、必要がなければ基本的には職員が頻りに訪室することはありません。だからこそ、受付に来られる短時間に顔色を見たり、ご様子に変化がないか注意しながら関わることで、健康で穏やかな日々をお過ごしいただけるよう努めております。

やりたいこと

数年前までは食堂に集まってイベントや季節の行事、お祭りなどを行っていたのですが、そうした機会があると入居者様同士のつながりが広がるのではないかと感じています。お部屋からあまり出られない方の中には、「お隣さんの顔しか知らない」という方もいらっしゃいます。だからこそ、入居者様同士が少しでも交流できる場をご提供できれば嬉しく思います。

大切にしていること

いつも笑顔で入居者様と関わる事です。また、自ら幅広く色々な方にお声がけし、コミュニケーションを取ることも同じくらい大切にしています。私自身、実は人見知りなのですが、入居者様の温かさや優しさに触れることで自然と笑顔になりますし、働く意欲にも繋がっておりますので引き続き意識していきます！



飛鳥ともしび苑 生活支援ハウス
村治 亜希さん

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は、家に居るよりも娘家族に会って3人の孫と遊んだり、友人と食事に出かけたりと外出することが多いです。孫たちは元気いっぱいですので、休日の方が体力を奪われますが、楽しく癒される時間です。ストレス対処については、特別なことはしていませんが、私は何時間でも平気なくらいドライブが好きなので、孫と一緒に車でお出かけすることが自然とストレス解消になっていると思いますし、お酒を飲むことも好きなので、娘、息子と親子水入らずで飲むことも良いリフレッシュになっています！

未来の自分

まだ数か月しか勤務しておりませんが、未来のイメージはなかなかしづらいのですが、この先も生活支援ハウスで働いて入居者様が安心して過ごせるようサポートしていきたいという想いは強く持っております。まずは日々の業務に真摯に向き合いながら経験を積み重ねていくことでその先のビジョンも明確になっていくものと思いますので、さらに励んで参りたいと思っております。